

空港もお得意先 週末は釣りに親しむ



富田社長

株式会社富田商店

(愛知県西春日井郡西春町)

土地柄、空港関係から出る廃棄物などを扱うことも多いという株式会社富田商店におじゃまして、富田社長にお話をお聞きました。

—富田商店さんは協会以前から加盟しているらしいのですが。

富田社長 (以下富田に略) 『奥から引っ張り出してみたら昭和61年の名簿があったのですが、この頃は愛知じゃなくて、3県を含んだ中部圏産業廃棄物協議会でしたね。その後、産業廃棄物処理事業協同組合になって、今は社団法人愛知県産業廃棄物協会ですか。まあずいぶん長く組合(現協会)のお世話になっているなあという感じがすね。』

—動植物性残渣が取扱品目にありますが、具体的にはどのようなものを扱っているのですか。

富田『豆腐とこんにゃくです。以前は牛の飼料にしていたのですが、最近は乾燥させてなめただけの苗床に再利用しているようです。ですから廃棄物の量自体も減ってきましたね。ただ、豆腐はカップと一緒にあって、分別が難しいので現在は焼却処分がほとんどです。以前コーヒーのかすを収集していた時もありましたが、日に5トンくらい出るんです。その頃はよかったです。コーヒーかすは鶏ふんなどと混ぜて芝などの肥料になります。有害でも無害でもなくて、土を柔らかくする効果があるくらいなんです。ゴルフ場の芝などには結構使われているんじゃないんですか。最近は企業からそのまま肥料に回ってしまうので、めっきり収集がなくなりましたね。』

—業務としては処理場や処分場に運搬するのが主なんですか。



社名/株式会社富田商店 所在地/愛知県西春日井郡西春町沖村天花寺126
代表者/富田弘 創業/昭和40年 従業員/18名 TEL/0568 (23) 3221

事業所/本社

営業種別/収集運搬 取扱い品目/ガラスくず、汚泥、廃プラスチック、木くず、動植物性残渣、金属くず、建設廃材

富田『先日、変わった廃棄物がありまして、空港から輸入米の処分依頼が来たんです。米は直接輸入できないので、でん粉にして輸入するらしいんですが、15%他のものが混ぜていないとだめらしいんですよ。これが分析して15.5%混じていたので、すべて産業廃棄物になったんです。これは協会から紹介頂きましたよ。』

—ところで話は変わりますが、凝っている趣味などはありますか。

富田『よくぞ聞いてくれました。得意中の得意は魚釣りです。釣りは新聞の写真に載るくらいですよ。もっぱら師崎から船です。マダカとかマダイなどが多くですね。年間50日くらい釣りに行っています。もう大物を大量に採りますよ。また、うさぎ島のあさり採りもよく行きますが、潮干狩り専用のゴム胴長ズボンを持っているくらいです。昨日行ってきたばかりで、来週も行く予定です。このマダカなんて(写真を指して)82センチですよ。お客さんを連れて行くんですが喜んでくれますね。お客さんとの円滑な付き合いにも、趣味がひと役買っているんです。』